

授業科目	教育心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	水貝 淳子						
授業概要	<p>教育心理学は、教育活動を心理学の立場から研究し、より効果的な教育活動を行うために、新たな知見や技法を提供する心理学の一分野である。</p> <p>本講義では、人の発達および学習活動を心理学の視点から解説する。具体的には、人の発達では、有名な発達理論を紹介するとともに、乳幼児期から青年期にかけての運動、言語、認知、社会性の各領域における発達過程を取り上げる。また、学習活動については、記憶、知識、学習、動機づけ、学級集団に対する理解、教育評価について取り上げる。本講義は、適宜、個人ワークやグループワークを取り入れながら展開される。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク ディスカッション		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レ ベル	<ol style="list-style-type: none"><li>心身の発達に関する諸理論について説明することができる。</li><li>乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について説明することができる。</li><li>記憶や知識、動機づけなどの学習に関連する心理学の諸理論を用いて、ひとの学習の過程について説明することができる。</li><li>学級集団の特徴や集団内の相互作用について、心理社会的な視点から説明することができる。</li><li>教育効果の測定と評価の方法について説明することができる。</li></ol>
理想的レ ベル	標準的レベルに加え、現代の教育に関する諸問題について学習内容を応用しながら考えることができる。 現代の教育に関する諸問題について関心を持ち、学習内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 - DP4 ○ DP5 ○ ナンバリング NU24103J

## 學習課題（予習・復習）

### 1回の目安時間（時間）

該当箇所の復習	4
---------	---

## 授業計画

第1回	テーマ：オリエンテーション 本講義のオリエンテーションを行う。教育心理学とはどのような学問であるかについて解説する。
-----	---

	テーマ：運動発達 乳幼児期から児童期までの運動発達について、発達の原理原則に関する諸理論を紹介しながら、解説する。
第2回	テーマ：言語発達・認知発達 乳幼児期から青年期にかけての言語発達および認知発達の過程について解説する。そのなかで、ピアジェの発達理論などについても紹介する。
第3回	テーマ：社会性の発達 乳幼児期から青年期にかけての社会性の発達について解説する。そのなかで、道徳性に関する発達理論であるコールバーグやアイゼンバーグの理論などについても紹介する。
第4回	テーマ：思春期・青年期の発達 これまでの学習内容では触れられなかったアイデンティティの発達や友人関係の発達について取り上げ解説をする。
第5回	テーマ：個性の理解 パーソナリティに関する諸理論や測定方法、知能に関する諸理論や測定方法について解説し、児童生徒の個別性を捉える視点について紹介する。
第6回	第7回：学習理論 心理学における学習の定義を確認したのちに、新たな行動の獲得と行動変容のメカニズムについて解説する。
第7回	テーマ：記憶 記憶の基本的な働きや記憶・忘却の過程、記憶の分類について解説する。
第8回	テーマ：知識 知識の分類や記憶の方略方法について解説する。
第9回	テーマ：学習方法 様々な学習方法における学びの過程や特徴について解説する。
第10回	テーマ：動機づけ 動機づけに関わる要因について解説し、児童生徒のやる気を育む対応について検討する。
第11回	テーマ：学級集団に対する理解 学級集団の様相や機能、集団内における対人相互作用に関わる要因とその影響について解説する。
第12回	テーマ：教育評価1 評価の方法について紹介する。また、評価基準や評価時期などが評価に与える影響について解説する。
第13回	テーマ：教育評価2 評価に用いる統計の基礎について解説する。
第14回	テーマ：まとめ これまでの学習内容の振り返りを行う。
テキスト	指定なし。毎回レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・	「ガイドライン学校教育心理学…教師としての資質を育む」大野木裕明他著 ナカニシヤ出版 「教育心理学」市川優一郎・宇部弘子・若尾良徳・齋藤雅英（編著）。中山書店

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	レポートを通じて出された授業内容に関する感想や質問は、適宜授業内で紹介し回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	学習内容を自身の経験と結び付けながら理解する姿勢が求められる。

